

カルメル霊性センター（月刊）

1999年（平成11）3月号

99.3

霊性センターニュース

131号



エディット・シュタイン(5)
霊性センターカルメル
（四旬節講話 『父である神』）
断層(135)
ヘンリ・ナーウエンの「旅路の糧」(10)
聖別：奉獻と洗礼(5)
フォコラーレニュースより
詩
諸々の企画のご紹介
お願い

『エディット・シュタイン』(5)

— 十字架の神秘の中へ —

チプリアノ・ボンタッキョ

(カルメル会司祭)

エディット・シュタインは、既に、受洗前に十字架の神秘に出会ったのです。主人の死を悼むライハナ夫人の態度の中で、十字架の不思議な力を見たとき本人は言っています。その時から、「ユダヤ人にはつまずき」となっていた十字架は、彼女の目には「神の知恵、神の力」(コリント1・23)に見えてくるようになりました。更に、十字架は次第に彼女の霊性の中心となり、その神秘に強く引かれて自分もキリストの十字架に与かるように呼ばれていることを感じるようになりました。

「キリストの花嫁はキリストの十字架のもとに立っている。母マリアのように。そこに立っているのは償いの業に参加する為である」。

カルメルに入ったのも「キリストの受難に与かる為」であり、修道名として「十字架のテレジア・ベネディクタ」を選んだのもその為でした。

カルメル会入会の年(1933)の聖木曜日、まだ入会前でしたが、その日カルメルの御聖堂で祈ることが出来ました。その日に祈ったことを本人が記しています。

「イスラエルの為に負わされた十字架(ナチスによる迫害のこと)がキリスト御自身の十字架である事の私の認識を主に申し上げた。イスラエルの人々の大部分はそれを知らないが、それを悟っている者は皆に代ってその十字架を自発的に受け入れなければならない…私にはその心の準備が出来ているが、どの形でその十字架を受け入れるべきかを示して下さいよう祈った」と。

この時の祈りが叶えられた事を心の中で確信していたと彼女は言っています。

この時点で、彼女はどの形で十字架に与らなければならないかを知らないと言っていますが、既に、ユダヤ人に対して迫害が始まっており、自分も教壇から追われた時、「イスラエルの民の運命が私の運命でもある事を感じた」と書いていますから、イスラエルの民の受難への参加が自分の十字架だと言う事を感じていたでしょう。その為に外国へ逃れるチャンスもあったのに、それを断りました。こうして、ケルンのカルメル会に入会して自分の十字架に向かって行きました。

自分が「キリストの花嫁」である事の認識が深く、初誓願(1935年)によってキリストに結ばれた時「小羊の花嫁となった事の深い実感に満たされた」と、また、3年後、終生誓願宣立によって自分の「生涯を小羊の花嫁」として捧げています。

「小羊の花嫁」となることの意味を承知して次の言葉を書いています。

「主は、カルワリオの上で真の和解（天と地との和解）の犠牲者となった…小羊の花嫁になろうとする人も小羊と共に十字架に付けられなければならない…花嫁が十字架にはり付けられる事によってキリストとに一致が成し遂げられる」と。

このようにエディット・シュタインは十字架の神秘の中へ導かれて行きました。イスラエルの民との強い連帯感に満ちて、また、イスラエルの人々の為に彼女は十字架を受け入れて自分の生涯を捧げました。そして、自分の奉獻について次の言葉を書いています。

「主が、皆の為に捧げた私の生涯を受け入れて下さった事を確信している。何時もエステル王妃（旧約聖書の「エステル記」参照）の事を思い出します。彼女はその民の中から選ばれ、王の前でその民の為に取り成している…私は非常に貧しく無力なエステルですが、私を選んで下さった王は、限りなく偉大で憐れみ深い方です」。

この言葉を終生誓願の直ぐ後に書いています。その翌年（1939年）の御受難の日曜日に「真の平和の為に償いの犠牲として、聖心に私を捧げる事をお許し下さい」と院長に償いの犠牲として自分を捧げる許可を願っています。そして、その数カ月後に書いた遺言書の中に「今から私は、聖心に完全に従い、喜びをもって神が私の為に定め下さった死に向って参ります」と書いています。ちょうどその年、ユダヤ人に対する迫害が急に激しさを増して、連行される者も多く、連行された人達の行く先もだんだん分かるようになりました。

オランダのエヒトのカルメル会に避難していたエディット・シュタインとその姉のローザが連行されたのは1942年の8月2日でした。「私達の民の為に参りましょう」と、姉のローザを励ましながらか修道院を後にして自分のカルワリオに向かって行きました。「どんな事が起こっても私はそれに備えている…心配しなくても良い…私は神の聖手の中にいる」と、アウンシュヴッツに向かっていく途中にこの言葉を残しています。1942年8月9日、ガス室で姉のローザと共にその生涯を閉じました。



霊性センターカルメル

1. 聖書深読黙想会

- (1)上野毛聖テレジア修道院 (黙想)(1999年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。
- (2)宇治聖テレジア修道院 (黙想) (1999年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。
- (3)名古屋教区聖書深読会

1.日本カトリック研究センター

〒466-0834 名古屋市昭和区広路町隼人30 TEL.052-831-5037
FAX.052-831-5317

日時：4月10日(土)夕食～11日(日)昼食

2.宇治テレジア修道院 (黙想)

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-12

日時：10月2日(土)夕食～3日(日)昼食

1.2.いずれも

指導：奥村一郎師 (カルメル会士)

連絡：小林 厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115

* 定員 21名

* 申込・締切り 実施日2週間前

(4)大分聖テレジア修道院 (黙想)

指導：奥村一郎師

日時：10月27日(水)夕食～28日(木)昼食

連絡：富田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL.0975-41-4012

(5)聖書深読箇所 (通信) 原則として月の第2日曜日

1/10 主の洗礼 マタ 3:13-17

2/14 年間第6主日 マタ 5:17-37

3/14 四旬節第4主日 ヨハ 9:1-41

4/11 復活節第2主日 ヨハ 20:19-31

5/9 復活節第6主日 ヨハ 14:15-21

6/13 年間第11主日 マタ 9:36-10:8

7/11 年間第15主日 マタ 13:1-23

9/12 年間第24主日 マタ 18:21-35

10/10 年間第28主日 マタ 22:1-14

11/14 年間第33主日 マタ 25:14-30

(6)通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を
組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：戸張由美子 〒163-0201東京都新宿区住友ビル 私書箱22

[註]「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。
参加者は持参下い。定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。尚、3冊以上
注文されれば、20%引きになります。

記

オリエンス宗教研究所

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ.03-3322-7601

FAX.03-3325-5322

2. 聖書と念祷の集い No.6

星野正道神父（毎月1回）

- ・日 時：3月20日（土）3：30～
- ・場 所：上野毛教会・信徒会館 26号室
- ・テキスト：神との親しさ（2）『キリストの対神徳』伊達カルメル会訳，聖母
文庫 500円。上野毛教会売店にあります。
- ・急に変更になることもありますので数回ご出席になってみてその後、継続し
ようとお思になる方は連絡網に入っただければと思います。
連絡網に入っらっしゃらない方は、土曜日の午前9時30分から11時30
分の間に修道院の受付に 電話 をして変更がないのをたしかめてからお出
かけください。 TEL.03-3704-2171 カルメル会修道院受付 久岡
- ・その他、夏休み、冬休み、春休み などのお知らせはこの灵性センターニュ
ースに掲載いたします。
- ・なお、この集いは前半約40分の講話と後半約45分の沈黙の祈りで構成されて
います。
- ・また、この集い終了後、5時30分から6時まで、全世界の人々の為に祈る神
の民の祈り「教会の祈り」、
- ・私たち一人一人を母の愛をもって見守る聖母マリアへの祈り、「サルヴェレ
ジーナ」
- ・主の受肉と十字架を通しての復活を賛える「お告げの祈り」、そして
- ・希望者には主御自身の御体をいただく聖体拝領が続きます。これらにもご自
由にご参加ください。

そして大都会の中のオアシスをこの修道院で探り当てましょう。

3. はじめての沈黙の祈り

今回はじめて沈黙の祈りをはじめてみようと思っていらっしゃるかたのコースです。音楽を使ったり、体や息を意識しながらやさしく自分のところの深みに降りて行きましょう

日時：毎月第一水曜日、午後7時30分～から約一時間

3月3日(水)

ヘルパー：星野 正道 (カルメル会司祭)

鳴崎神学生、松田神学生 (カルメル会)

会 費：なし 自由献金

場 所：カトリック上野毛教会聖堂

東急 大井町線 上野毛駅下車5分

158-0093世田谷区上野毛2-14-25 男子カルメル会修道院

(お通夜などで聖堂が使えない時には信徒会館でいたします。貼り紙に目を留めてください)

4. 祈りの集い

時間に追われる毎日…。月に一度、あなたも思い煩いをそっと脇に置き、共に沈黙に耳を傾け、聖霊の息吹きの中で魂の深呼吸をしませんか。

*この集いは、3月をもって終了させていただきます。

くのり

担当：九里 彰神父

日時：2月17日(水) 3月24日(日) 午後7時30分～9時

場所：信徒会館1階ホール

(葬儀等で使えない場合は、2階の部屋)

内容：聖歌、沈黙の祈り、み言葉、小講話等があります。

(何の準備もいりません。)

5 T . T . クラブ

～10代・20代の青年たちの集い～

カルメル会で10代・20代の青年たちの集い『T. T. クラブ』を始めました。このクラブの特徴は現代社会のムーブメントを題材に、お互いにの話を聞く、自分の意見を話す、また伝わってくるものを感じ取る、自分の感性を表現するということを中心に置きます。その中で、お互いの神様から頂いた“宝”を発見し、よりよく人々と共に生きていく可能性をさがしていければと願って

います。

ぜひ、参加してみてください。わたしたちもスタッフはここからお待ちしております。

- 第13回 1月16日(土)「成人」
- 第14回 1月30日(土)「1999年はどんな年！」
- 第15回 2月13日(土)「寒い中での心暖まる話し」
- 第16回 2月27日(土)「さあ、イースターの準備だ！」
- 第17回 3月6日(土)「春一番の風」
- 第18回 3月27日(土)「LAST SUPPER」

*時間 いずれもP.M.7:00からP.M.9:00ま

*対象 10代・20代の青年たち

*スタッフ カルメル会士

*場所 カトリック上野毛教会 信徒会館 1F

*プログラム

7:00-7:20 はじめの集い

(みんなで賛美歌を歌うetc.)

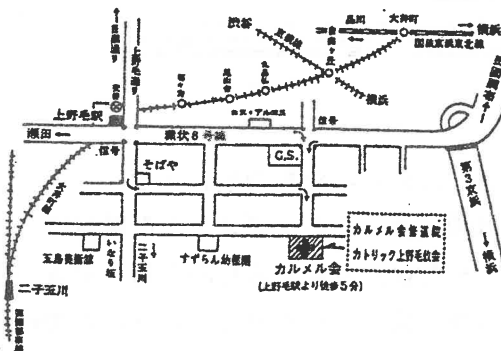
7:20-8:20 分かち合いの時間

分かち合いによりお互いの宝を発見する時間

8:30-8:50 祈りの時間：賛美の祈り・沈黙の祈り・祝福。

9:00 解散

〒1580-0093 世田谷区上野毛2-14-25 TEL 03-37-4-2171



修道生活、司祭生活を考える若者の集い

NO. 12

この修道生活、司祭生活を考える若者の集いも皆さんのご協力で小さなあゆみをつづけております。この集いは特定の修道会へのおさそいの集まりではありません。教会生活を送って行く中で今までとはちがう生き方もあるのではないかと、思っている若者がひとりぼっちでひざをかかえているのはよくない、同じように感じている仲間と出会い、ともに祈りながらあゆんで行けたら何かが見えてくるのではないかと、ということで始まりました。もし君がそんなひとりだったらぜひ来て見ませんか。

*日時 4月25日(日) 10時から16時まで、昼食は各自お持ちください。

*対象 30才くらいまでの独身男女青年

*スタッフ カルメル会司祭 星野正道

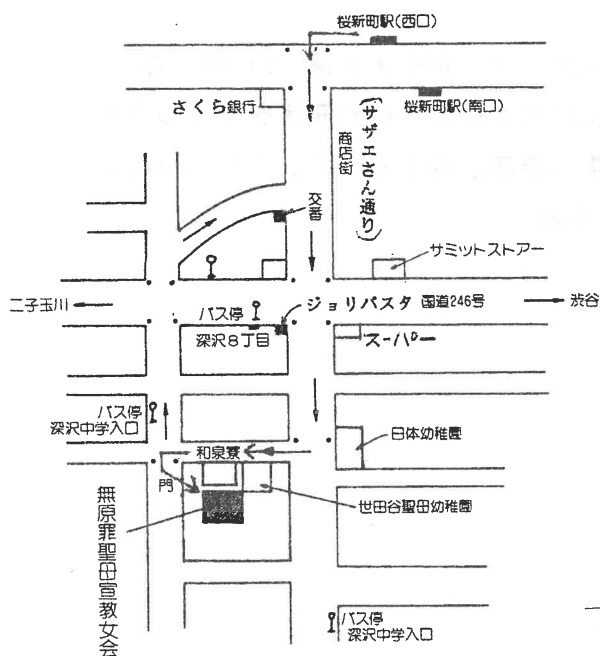
*費用 1000円

*内容 主日ミサ、講話、質問コーナー、個人面談等

*持って来るもの 聖書、ロザリオ、筆記用具、昼食等

*連絡先 158-0093 世田谷区上野毛2の14の25 男子カルメル修道会
星野正道神父 TEL03-3704-2171 申し込みの必要はありません。

*会場 無原罪聖母宣教女会修道院 158-0081 世田谷区深沢8の13の16
東急新玉川線桜新町下車 TEL03-3701-3295



〈地下鉄〉

□ 渋谷駅より
新玉川線(二子玉川園方面)
桜新町下車 徒歩12分

〈バス〉

□ 渋谷駅より 南口
18番のりば(新道経由)
二子玉川園行 } いずれも
高津営業所行 } 深沢8丁目下車
徒歩3分

〈バス〉

□ 東横線都立大駅より
成城学園行 深沢中学入口下車
徒歩1分
□ 目黒駅より
弦巻営業所行 深沢中学入口下車
徒歩1分

無原罪聖母宣教女会
〒158-0081
東京都世田谷区深沢8-13-16
☎ 03-3701-3295

1999年 カルメル会東京・上野毛聖テレジア修道院(黙想)

黙想会年間スケジュール

1. 信徒と奉獻生活者のための個人指導黙想会

スタッフ 星野正道師、Br.原 造(以上カルメル会)

Sr.中川享子(ケベックカリタス会)、他

(1) 6月 3日(木) 4時から12日(土) 朝食

(2) 10月22日(金) 4時から31日(日) 朝食

全期間参加の方優先ですが二泊からの部分参加もお受けできると思います。

詳しくは申込用紙を御請求ください。

2. 奉獻生活者のための黙想会

(1) 8月22日(日) 4時から31日(火) 朝食 山田裕干師

(2) 12月26日(日) 4時から翌年1月4日(火) 朝食 渡辺幹夫師

3. 聖書深読黙想会

(1) 1月30日(土) 夕食から31日(日) 16時30分 奥村一郎師

(2) 5月 8日(土) 夕食から 9日(日) " "

(3) 7月 3日(土) 夕食から 4日(日) " "

(4) 9月18日(土) 夕食から19日(日) " カルメル会士

追加 (5) 12月4日(土) 夕食から5日(日) " 奥村一郎師

4. ウェンズデイ・リトリート スタッフ: 星野正道師 Br.原 造

大聖年に向けての準備 「御父の愛に結ばれていのちの共同体をつくろう」

(音楽瞑想、講話、分かち合い、ミサ、etc.)

(1) 5月12日(水) 10時から16時

(2) 6月16日(水) "

(3) 7月14日(水) "

(4) 10月 6日(水) "

(5) 11月10日(水) "

5. ウィークエンド・リトリート スタッフ：カルメル会士

(最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。)

- | | | | | | |
|-----|-----------|-------|--------|-----|--------|
| (1) | 5月28日(金) | 20時から | 30日(日) | 15時 | 未定 |
| (2) | 6月25日(金) | " | 27日(日) | " | 未定 |
| (3) | 12月17日(金) | 夕食から | 19日(日) | 昼食 | チブリアノ師 |

6. 特別企画黙想会

- (1) 5月18日(火) 夕食から 20日(木) 昼食(通い可) アロイジオ師

以上、1.から6.までの申込はカルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。

皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355 お急ぎの時 03-3704-2171

FAX. 03-3704-1764

7. 青年黙想会(男女)

スタッフ：カルメル会士

- (1) 5月22日(土) 16時から 23日(日) 16時
希望者には5月21日(金) 20時から始まるプログラムもあります。
その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。
- (2) 11月 6日(土) 16時から 7日(日) 16時
希望者には11月5日(金) 20時から始まるプログラムもあります。
その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。

この青年黙想会のお問い合わせ、申込はハガキかFAXで下記まで。

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25 カルメル会

青年黙想会担当神学生 FAX. 03-3704-1764

宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)
1999年 黙想会案内

聖書深読黙想会

1月30日(土)夕食	～	31日(日)午後	大瀬高司神父担当
5月29日(土)夕食	～	30日(日)午後	大瀬高司神父担当
7月10日(土)夕食	～	11日(日)午後	奥村一郎神父担当
9月18日(土)夕食	～	19日(日)午後	中川博道神父担当
11月27日(土)夕食	～	28日(日)午後	奥村一郎神父担当

青年のための黙想

・男性のため(高校生以上～35歳まで)	カルメル会士		
6月12日(土) 5:00PM	～	13日(日) 4:00PM	
11月20日(土) 5:00PM	～	21日(日) 4:00PM	

・女性のため(高校生以上)

	カルメル宣教修道女会シスター		
	中川博道神父		
5月22日(土) 5:00PM	～	23日(日) 4:00PM	
11月13日(土) 5:00PM	～	14日(日) 4:00PM	

壮年 男性のための黙想 (ホットしよう会)

	中川博道神父		
6月19日(土) 5:00PM	～	20日(日) 4:00PM	
10月23日(土) 5:00PM	～	24日(日) 4:00PM	

半日の黙想 (一般)

	中川博道神父		
4月22日(木) 10:00AM	～	4:00PM	
7月1日(木) 10:00AM	～	4:00PM	
10月28日(木) 10:00AM	～	4:00PM	

幼いイエスの聖テレーズ 黙想 (一般)

	伊従信子女史 (ノートルダム・ド・ウイ)		
9月30日(木) 4:00PM	～	10月1日(金) 3:00PM	

3泊4日の黙想

	(一般)	伊従信子女史 (ノートルダム・ド・ウイ)	
7月23日(金) 5:00PM	～	26日(月) 昼食	

修道女の黙想

7月27日(火) 5:00PM	～	8月5日朝食	アロイジオ神父
12月6日(月) 5:00PM	～	12月15日朝食	奥村一郎神父
12月27日(月) 5:00PM	～	1月5日朝食 (一般も可)	中川博道神父

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-12

TEL 0774-32-7016 / Fax 32-7457

最寄の駅: JR 奈良線 六地蔵駅

京阪宇治線 木幡駅 or 六地蔵駅

カルメル会四旬節講話シリーズ

1999

大聖年紀元2000年を迎える準備

『父である神』

場所・カトリック上野毛教会聖堂 東急大井町線上野毛駅下車徒歩5分
世田谷区上野毛2の14の25 カルメル会修道院

日時・次の各日曜日午後2時講話開始、続いて主日ミサ

- 2月21日 (日) 九里 彰 (カルメル会司祭)
「貧しい神 — モーリス・ズンデルの霊性 —」
- 2月28日 (日) 石川 康輔 (サレジオ会司祭)
「父なる神への祈り — 聖書、典礼文、聖人たちの言葉における —」
- 3月 7日 (日) 山口 好信 (カルメル会司祭)
「臨床心理学からみた父性と神」
- 3月14日 (日) 奥村 一郎 (カルメル会司祭)
「父から御父へ」
- 3月21日 (日) ベトロ・アロイジオ (カルメル会司祭)
「イエズス・キリストとわれらの御父への祈り」

主 催

男子カルメル修道会

断想（135）

1999 2月

（祈りの神学 11）

死と祈り

—わたしは死なぬ—

同じことばを違った人から直接、間接に聞いた。

「わたしは死なない」

最初に聞いたのは、十年ほど前、南ドイツのザルツブルグに近い片田舎トーレーという寒村にある瞑想センターでのことであった。一週間の接心せっしんに参加した青年の話。近郊に住む著名な哲学者—残念ながら名を失念—が、その頃他界された。そのとき、「わたしは死なない」といった。

次は、欧米の学界にもその名を知られた京大教授の哲学者 久松真一。やはり、臨終の折に、「わたしは死なない」といわれたことを耳にした。

三番目は、昨年三月半ば 遷化せんげ（禅語）された傑僧 内山興正老師。公開講演や N. H. K. のテレビでも席をともにした思い出があり、また、われわれの宇治修道院近くにすんでおられたよき師、よき友であった。イタリア人神父を案内して病床にあった老師にお会いしたときのこと。

「神父さん、わたしは死なぬ！ わたしは死んでも、わたしの“自己”は死なない。奥村さん、そうやろ!!」

ここ二十年来、なんども死線を越えてきた老師。そのときも、今日、明日を知らぬ重態の床に伏したまま、頭をもちあげるようにして、いつもの勢いにも増して叫ぶようにいわれた。

「そうです。“自己”は死にません……」と応答するわたしのことばは自分に引導を渡す老師の迫力とは程遠いものだった。

四番目には、一昨年 帰天百周年が盛大に祝われた、幼いイエスの聖テレジアが残した最後のことば。

「わたしは死にません。永遠の命に入ります。」

死は滅びではなく、永遠の命に復活する、という。

「わたしを信ずるものは、たとひ 死んでも生きる」(ヨハネ11・25)

十字架を間近にするイエスのことばは、不生不死ふしょう ふしの永遠の愛を証しする

「みことば」であった。

奥村一郎

'99 カルメル会 特別企画黙想会

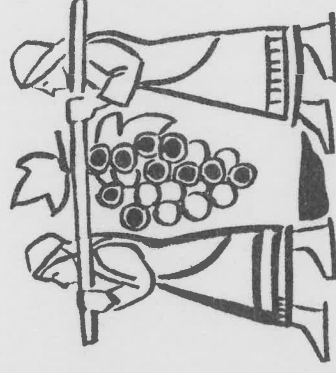
「神に型どって造られた私たち」

— 私たちにおける神のいのちと働き —

*指導 カルメル会 アロイジオ師

*日時 5月18日(火) 夕食～5月20日(木) 16時

*費用 ¥12,000 (通い可 ¥10,000)



カルメル会上野毛聖テレジア修道院

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL 03-5706-7355 (お急ぎの時は、03-3704-2171)

FAX 03-3704-1764

友情の賜物

友情は、人間が受け取ることができるもっとも偉大な賜物の一つです。それは、共通のゴール、共通の関心、共通の歴史を越えた絆だからです。その絆は、性的結合が作り出す一致よりも強く、共なる運命が生み出す一致よりも深いものです。しばしばそれは、結婚や共同体の絆よりも親密ですらあります。友情は、喜びや悲しみを他者と共にすることです。喜びを増すことも、悲しみを減らすこともできない時でさえ、それらを共にすることです。それは、愛することに高貴さと誠実さをもたらす魂の一致です。友情は生涯のすべてを明るい輝きで満たしてくれます。何と幸いな人たちでしょうか。彼らの生涯を友のために築く人たちは。

(1・7)

赦すことは、自由への道

他者を心から赦すことは、解放の行為です。私たちはそれによって、その人と私たちとの間にある否定的な絆から彼をを自由にするのです。私たちは、こう言います。「もうあなたの過ちを水に流します」と。しかしそれは、それだけではないのです。私たちもまた、「過ちをこうむった者」であるという重荷から解放されるからです。私たちが、私たちが傷つけた人々を赦さない限り、私たちは彼らを自分と共に運び、彼らを重い荷物として引きずってゆくことになるのです。大きな誘惑は、私たちが敵に対する怒りにとらわれて、彼らによっていやな思いをさせられ、傷つけられた者であると自己規定してしまうことです。それゆえ、赦すことは、他者を解放するばかりでなく、自分自身をも解放するのです。それは、神の子としての自由への道なのです。

(1・26)

『聖別奉獻と洗礼』（5）

松田 浩一 訳
（カルメル会神学生）

一教皇ヨハネ・パウロⅡ世のカテケージス『福音的勧告による聖別奉獻生活の本性と次元』（1994年10月26日）より（その3）一

同じように福音的勧告の誓願は、堅信の秘跡による聖別を発展させたものともいわれます。福音的勧告は聖霊の新しい賜物であり、活気のあるキリスト教生活のために与えられたものであり、堅信の秘跡に付け加えて福音的勧告を通して、聖性と使徒性の新しい実を結ぶために教会に奉仕するために与えられたものです。キリスト教的委託と使徒性のキャラクターを持つ堅信の秘跡も、聖別奉獻生活の根幹でもあります。

このことについて、福音的勧告を受け入れることによって包含される聖別のうちに、洗礼と堅信の効果をみるということが適当です。そして、秘跡的営みの中で、本性からしてカリスマ的な修道生活であるということもできます。この線に沿って、修道司祭にとっての叙階の秘跡も、主により近くに結びつけられる福音的勧告の実施のうちに実を結ぶということも、明記することができます。貞潔・清貧・従順の誓いは、この献身の実現化を志します。

聖別奉獻生活は教会における聖性の成長のために本質的な価値を表現していますが、福音的勧告と洗礼・堅信・叙階とのつながりは、この本質的な価値を示すのに助けています。そしてこのようなわけで、わたしは祈りのうちにあなたがたを訪問することによって近づこうと思います。主が彼自身、「聖」であるように願ひ、そして「聖」とした教会のうえに、聖別奉獻生活の賜物をますます与えてくださいますように。〈おわり〉

生き方を通して

そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

あなたが信仰を持っているなら、まだ神様を知らない人に対して、一つの役割を担っています。

実際キリスト者は、信仰を持っていることを隠したり、宗教は個人にかかわることだからと考へたりして、世を避けるわけにはいきません。

キリスト者が世にとどまって生きるのは、すべての人に対して、一つの責任、使命を負っているからです。それは、周りを照らす「光」となることです。

あなたも、この使命を持っています。もしこの使命を果たさないならば、「味を失った塩」や「輝きを失った光」のように、むなしい存在となってしまふでしょう。

光は「立派な行い」の中で現れます。すなわち、キリスト者が果たす「良い業」を通して、光は輝きを放つことができるのです。

あなたは、「キリスト者だけが、良いことをしているわけではありませんよ。ほかの人々もいろいろな開発を進めたり、施設を建築したり、正義のために働いたりしています」と言うかもしれません。

確かにその通りで、キリスト者も無論、これらすべてを果たす必要があります。しかし、キリスト者特有の働きは、別のところにあるのではないのでしょうか。すなわち、キリスト者が生きるよう招かれているのは、良い業を果たすにしても、それを「新たな心の姿勢で」行うこと、その人自身ではなく、キリストがその人の中に生きるようにすることです。

ここで、マタイ福音史家の言う「立派な行い」とは、個々の具体的な愛徳行為（獄中の人を訪ねたり、着る物のない人にそれを与えたり、または現代社会で助けを必要としている人々に手を差し伸べること）だけを指すではありません。むしろ、キリスト者が神のみ旨を全面的に受け入れて生きることにより、その人の「生活全体」が良い業となることを意味しています。

もし、このように生きるなら、キリスト者は「透明な存在」となり、その人が果

たした業に対する賞賛も、彼自身ではなく、彼の中におられるキリストに向けられます。こうして、その人を通して、神様が世に存在されるようになります。キリスト者の使命とは、自分の中に住まわれるこの「光」を輝かせること、人々の間におられる神様の「しるし」となることです。

そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

個々のキリスト者が果たす良い業に、このような特徴があるとすれば、世にあるキリスト者共同体も、同様の働きを持っています。生活を通して、神様の存在を証しすることです。神様は、ご自分の名によって二人三人が集まるところにいてくださる、これは、イエスが世の終わりまで、教会に約束されたことでした。

今月のイエスの言葉は、初代教会では大変強調されていました。特に、キリスト者が迫害を受けていた時期にあってはそうで、教会は、暴力で対抗しないよう教えていました。なぜならキリスト者は、自分たちの生き方によって、受けた中傷に対して最高の形で反論できたからです。

テトスへの手紙には、次のように記されています。「万事につけ若い男には、思慮深くふるまうように勧めなさい。あなた自身、良い行いの模範となりなさい。教えるときには、精練で品位を保ち、非難の余地のない健全な言葉を語りなさい。そうすれば、敵対者は、わたしたちについて何の悪口も言うことができず、恥じ入るでしょう」（テトスへの手紙2・6-8）と。

そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

私たちが本当にキリスト者として生きるなら、今日においても、神様を証しするための光となれます。

一つの例をお話ししましょう。

イタリア人のアントニエッタは、仕事のためにフランスに行き、ある事務所で働いていました。やる気のない人が多い職場でしたが、アントニエッタはキリスト者

として生きながら、同僚一人ひとりの中にイエスの姿を見て、彼に仕えるよう努めていました。だれにでも手を貸し、いつも穏やかで、ほほ笑みを忘れませんでした。よく同僚のだれかが怒って、声を荒げ、彼女に腹立ちをぶつけることがありました。「そんなに仕事がしたいなら、私の分もやってよ！」とからかわれることもありました。

そんな時、彼女は何も言い返さず、黙々と働きました。同僚が悪い人たちではないと分かっていた。皆それぞれ、悩みを持っているのかもしれないのです。

そんなある日、同僚がだれもいない時、上司がアントニエッタのところに来て、尋ねました。「あなたに教えてもらいたいのです。どうして絶対に忍耐を失わず、いつもほほ笑んでいられるのですか」と。彼女はさりげなく答えました。「冷静になって、物事を良い面から見るようにしています」と。

すると上司は、机をたたいて、大声で言いました。「そうじゃないでしょう！神が関係しているはずですよ。さもないと、できないことですよ。私は神を信じていませんでしたが、それ以外には考えられません！」と。

それから何日かして、アントニエッタは社長室に呼ばれ、ほかの事務所に移ってもらえないか、と頼まれました。「あなたのおかげで、今の事務所は本当に変わりました。次の所も同じようにしていただきたいのです」というのが、社長の言葉でした。

そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

キアラ・ルービック

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-11-4

TEL. 03-5370-6424

FAX. 03-5370-3055

蛭田 幼一

鼬川 I

石をもて追われるごとく、ふるさとを出たのは啄木だった。その悲しみは生涯消えることがなかったのだ。そんなことを考えながら、僕が帰り路を急いでいると、傍らに、鼬川が現れた。流れは濁っていたが、力強い響きだった。底には幾つもの空罐がある。川に不似合いな、鯉やフナが泳いでいる。それは僕にも分かっていた。

(筆者は聖書深読・聖書と今傍の集い参加者)

諸所の企画についてのご紹介

“限りある資源を大切に”の環境アセスメントへの協力のため、読者の方々へご参考になればと思いご紹介、掲載しておりました研究会・行事等のお知らせを下記のように簡略させていただきます。どうかご理解いただきますように。各企画に興味のある方、時間のゆるす方は、各々の所へ詳細をお問い合わせの上、ご利用、ご参加下さい。

I ノートルダム・ド・ヴィ (いのちの聖母会)

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 TEL&FAX, (03)3594-2247

キリスト者の生活を深めるための祈りの集い

テレーズの祈り

紀元2000に向かって.....

教会博士リジュエの聖テレーズと共に祈る

II スズラン・ハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。

詳細を知りたい方は、下記へ：

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

III 風の家

指 導：井上 洋治 師 (東京教区司祭)

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『風』編集者

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-5-10-101

Tel・FAX 03-3205-6923 詳細はお電話でお尋ね下さい。

IV 生命山カトリック別院

場 所：〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

A 黙想会：(a) 8月 1日(日)～ 9日(月) 8泊9日 { 開始：16時
(b) 8月16日(月)～24日(火) " { 終了：朝食後

B 研修会：(a) 3月21日(日)～22日(月) 典礼といけ花
(b) 5月 2日(日)～ 3日(月) ミサと茶道

C：諸宗教対話活動 仏教者との交流

(b) 4月29日(木) 上益城郡教栄寺 (c) 6月27日(日) 検討中

D：21世紀にむけて第4回 宗教者平和の祈りの集会

日時：10月3日 午後 場所：生命山カトリック別院

E：祈りの集い テーマー三位一体のイコンの観想

3月11日(木) 6月10日(木) 10月14日(木)

4月8日(木) 7月8日(木) 11月11日(木)

5月13日(木) 9月9日(木) 12月9日(木)

このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。

お申込みは生命山別院へ

V 瞑想の家 東光庵

指 導：ヨハネ・ウマンス師（神言会）

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

詳細問い合わせは電話で。

VI リーゼンフーバー神父による研究会

- ①キリスト教入門講座 日時：金曜日 18:45～20:30
場所：聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール

各会のテーマ

- 3/5 人間の受難—悪とは何のためか
3/12 死—その現実と克服
3/19 人生の完成—神の内に生きる
3/26 マリアと聖人たち—祈りと恵みによる共同性

- ②神学読書会 日 時：毎月第2・第4（第5）水曜日 18:30～

場 所：SJハウス第5会議室 要申込み、定期参加

- ③聖書研究会 日 時：毎月第1・第3水曜日 18:30～20:00

場 所：S.J.ハウス第5会議室

日 時：木曜日 12:40～13:25

場 所：上智大学7号館 316号研究室

- ④坐禅会 日 時：月曜日 17:20～20:10 木曜日 18:00～20:30

場 所：クルトゥムハイム1階左の部屋 3回坐り、間に講話があり。

- ⑤ミ サ：水曜日 17:10～18:00 場所：クルトゥムハイム1階右小聖堂

- ⑥黙 想：水曜日 18:00～18:30 場所：（同上） （同上）

- ⑦祈りの集い：下記土曜日 13:30～16:00 場 所：S.J.ハウス第5会議室
3月13日

- ⑧黙想会： 3月20日（土）10時～21日（日）15時 一泊 2400円程度

- ⑨アガペ会：

- ◎ 以上、詳細を知りたい方は下記へお問い合わせ下さい。

102-0094東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J. ハウス TEL.03-3238-5124

直通電話 03-3238-5124

5111(伝言)

Ⅶ 三位一体の聖体宣教女会 「祈りの家」

場 所：〒189-0003東村山市久米川町1-17-5 TEL.042-393-3181 FAX 042-393-2407

A. 黙想会

- ① “聖書で祈る”

指導：雨宮 慧師 対象：女性信徒

3月6日（土）5:30P.M.～7日（日）4:00P.M.

6月26日（土）5:30P.M.～27日（日）4:00P.M.

10月23日（土）5:30P.M.～24日（日）4:00P.M.

- ② 四旬節の黙想

3月16日（火）10:00A.M.～16:00 P.M.

指導：シスターマグダレナT.A 対象：信徒、救道者

③ 召命を考える一日の祈りの集い

4月29日(木) 国祭日 10:00 A.M. ~ 5:00 P.M.

指導司祭：星野正道師 (カルメル会) 対象：女子青年

以上の黙想申し込みは期日5日前まで

B. 年の黙想

① 指導：雨宮 慧師 対象：修道女

8月11日(水) 5:30P.M. ~ 19日(木) 朝食まで

② 指導：星野正道師 対象：修道女

12月26日(日) 5:30P.M. ~ 2000年1月4日(火) 朝食まで

年の黙想申し込みは期日開始の一ヶ月前まで

聖書に親しむ集い

指導：シスターマグダレナ・トレス・アルビ

対象：一般信徒 - 西歴2千年に向けて 御父、御子、聖霊との交わり -

期日：1月~11月。月の最終木曜日 2:00P.M. ~ 3:00P.M. (7.8月はお休み)

キリスト教講座 毎週木曜日 10:00A.M. ~ 11:30A.M.

十字架の使徒職 - 洗礼による祭司職に生き、司祭のために祈る集い -

対象：信徒、求導者

期日：第一グループ 第2金曜日(2:00P.M. ~ 3:30P.M.)

期日：第二グループ 第1木曜日(2:00P.M. ~ 3:00P.M.)

VII マリアの御心会 (明泉会)

場所：〒160-0012 東京都新宿区南元町6-2 TLE.03-3351-0297

I. 黙想会 担当：シスター今村和子

① 聖書深読黙想会 - 主日の福音を中心に -

隔月・日曜日 10:00a.m ~ 5:00p.m.

.3/14

② 黙想と祈りの集い テゼの歌をうたいながら

③ 霊操による祈りの集い

指導：長町 裕司師 (イエズス会)

第3土曜日 6:00 ~ 8:00p.m.

II ① 聖書会 ... 詩編を読む...

毎月第1月曜日 10:00 ~ 12:00a.m.

② 聖書通読講座

木曜日 6:30 ~ 8:30pm.

IX 聖心会黙想の家

場所：〒410-1126 静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax.0559-92-2120

A 祈りの集い (問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAで！)

② 6月4日(金) 泊まり ~ 6日(日) 午後3時まで

「エウカリスティア」・・ Br. ジュリアノ M.O.P.P.

③ 12月10(金)夕食～11日(土)午後5時まで。星野正道師(カルメル会)

④ 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか?

時： 毎月 第2土曜日 午後4時～午後5時

場所： 不二聖心のキャンパスにあるどこかの聖堂(四箇所の一つ)

(当日黙想の家の玄関に表示します。)

内容： 沈黙の祈り

(3/13, 4/3(聖土曜日)、5/8, 6/12, 7/10, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11)

B 黙想会

☆ 8日間または6日間の黙想会

初日の夕食(6時)～最終日の朝食まで。2～3日だけの参加も可能。

① 3月22日(月)～31日(水) ヘルパー司祭、シスター数名

② 4月28日(水)～5月5日(水) //

③ 7月1日(木)～10日(土) //

④ 8月29日(日)～9月7日(火) //

☆ 婦人の黙想会

① 5月10日(月)午後2時～11日(火)午後3時まで

② 10月4日(月)午後2時～5日(火)午後3時まで、

☆ 家族連れの黙想会 ベビーシッターも同時募集!

① 6月19日(土)午後6時～20日(日)午後3時まで

② 10月2日(土)午後6時～3日(日)午後3時まで

C 一日黙想会 講師：カルメル会司祭星野正道

場所：聖心会若宮共同体

日時：3/2, 5/25, 9/7, 11/9(以上全て火曜日)

上記Bの☆マークの黙想会およびC一日黙想会のお問い合わせ・お申し込みは：

165-0033東京都中野区若宮3-9-4 若宮共同体 TEL.03-3337-3291

聖心会シスター交野(かたの)

X カトリック内観研究会

代 表：藤原直達(大阪教区司祭)

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-10-5 カトリック浅草教会内

TEL&FAX 03-3862-8876

カトリック内観瞑想は沈黙と孤独の中で、自分の身近な人に対する「していただいた事(愛されてきた体験)」「お返しした事(感謝を表す)」「迷惑かけた事(我執)」を年代順に調べる事により、自分の姿を自己洞察し、一方、神の無償の愛を体感します。それは自分の中にある日本的霊性の発見ともなります。毎日、8～10回の面会とミサがあります。

予約：手紙・FAX(電話を避け)申し込み下さい。それぞれの事情に応じて相談しますので、まずはご連絡下さい。

費用：会場によって費用が変わってきます。宿泊代・食事代・面接同行者の交通費、それに同行者に少しを喜捨して頂きます。

持ち物：楽な着物、着替え、洗面具など。

会場場所：申し込み後、地図をお送りします。

一週間どうしてもできない場合：特例としてその後も続けるという条件で、部分的申し込みについて相談します。

予 定 表

E 3/19~22	四日間	茅ヶ崎	K 6/19 ~26	八日間	茅ヶ崎
F 3/24~31	八日間	千葉・白子	L 7/3~10	八日間	〃
G 4/10~17	八日間	茅ヶ崎	M 7/18 ~24	七日間	奈良市
H 4/28~5/6	八日間	千葉・白子	N 7/31 ~8/7	八日間	茅ヶ崎
I 5/20~23	四日間	奈良市	O 8/18 ~8/25	八日間	千葉・白子
J 5/29~6/5	八日間	茅ヶ崎			

また、「イエスと日本人 -日本での文化内開化の試論-」の公開講座を朝日カルチャーセンターでもなさっております。

日 時：1月25日、2月8日・22日、3月8日 全4回 月曜日10:00 ~12:00

受講料：会員 10,000円 一般： 11,200円

場 所：新宿住友ビル48階 朝日カルチャーセンター（受付は4階）

なお、詳細は上記にお問い合わせください。

XI コングレガシオン・ド・ノートルダム

〒182--0034 調布市下石原3-55 TEL.0424-82-8056 (夜間)0424-82-2012)



上野毛、宇治、大分、

カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

聖テレジア修道院 (黙想) は、カルメルの霊性を体験し深めたい方のためのものです。黙想会、研修会、練成会などに御利用下さい。個人でも団体でも御利用頂けますが、必ず事前に御連絡の上、お申し込み下さい。なお、詳しい御問い合わせは、下記へお願いいたします。

※☎158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

☎ : 03-5706-7355

FAX : 03-3704-1764

東急、大井町線「上野毛駅」下車 徒歩7分

かみのげ

※☎611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

☎ : 0774-32-7016

FAX : 0774-32-7457

京都駅よりJR奈良線：「六地蔵駅」下車 徒歩15分

ろくじぞう

おくらやま

京阪バス：六地蔵の町並バス停より御蔵山行きに乗り
「西住宅バス停」下車 徒歩5分

※☎870-1152

大分市上宗方1800-3

☎・FAX 共：0975-41-4012

大分駅～バスで18分、大分川を渡って明積橋を右折、

あけがわらばし

男子跣足カルメル修道会

イエスと日本人

— 心の癒しと内観と福音 —

講師 カトリック司祭 藤原 直達

<講師のことば>

仏教的な修行方法の「内観法」をキリスト教の神父が独自の治療・教育・修行の三領域での方法として「カトリック内観瞑想」と呼び、促進している。いわゆるキリスト教のインカルチュレーション「文化内開花」の具体的実践である。魂の深みでの癒しと日本的霊性の開発は、イエスの福音を魂の深層領域にくだしてゆくこととホリスティックにつながっている。

この講座では、その思想的背景を探り続けている。今回は、東洋の知性である唯識思想、井筒哲学などからキリスト教的展開の試みをする。 (講師・記)

<講師紹介> 藤原 直達 (ふじわら・なおさと)

1944年大阪市生まれ。上智大学大学院で哲学・神学修士号。1973年カトリック司祭。神学校養成担当者を経て、大阪教区内の教会を歴任、再上京し、浅草教会を拠点にし、精神的な悩みや感情・知的障害を持つ人達との関わりを経て、カウンセラーとして、また魂の深層で求道。現在「カトリック内観研究会」を主宰し、各所で「カトリック内観」の同行指導中。著書「東西のはざままで」など。

日 時 1999年4月5日～6月21日 全5回 (5/3・17は休み)

第1・3・5月曜日 10:00～12:00

受講料 会員 12,500円 一般 14,000円 (入会金不要)

受講料には消費税5%分が加算されます。

場 所 新宿住友ビル48階 朝日カルチャーセンター (受付は4階)

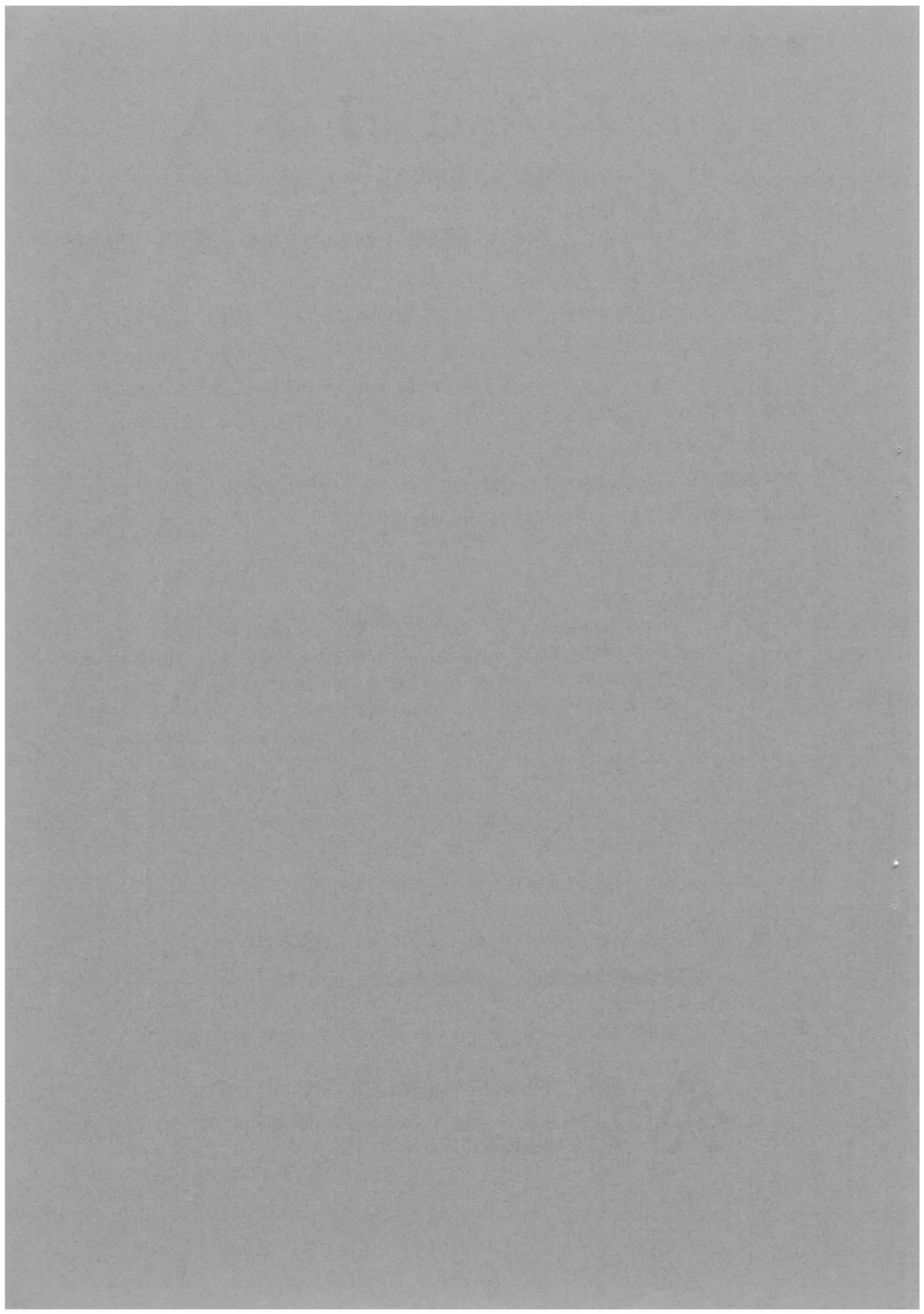


朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター

〒163-0204 新宿住友ビル内 私書箱22号

東京都新宿区西新宿2-6-1 TEL 3344-1941 (代)

TEL 3344-1945 (直)



お 願 い

投稿下さるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 或いは 主旨
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送り下さい。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送って下さい。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5

☎045-941-3566

あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きて下さいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道

